

創造拠点形成事業「沖縄クリエイターズビレッジ」平成24～26年度の活動報告総括

平成24年度から取り組んできた活動の大きな目的は2つ。

『ネットワーク形成』と『創造拠点形成』

本事業の本拠地である沖縄市一番街商店街周辺は、全国の商店街と同様に空き店舗対策が深刻な問題です。隣接するうるま市島嶼地域は過疎化が進み地域創生の取り組みが急務です。そのうるま市が施策として計画したのが、アートプロジェクト（平成24年度～）です。プロジェクトスタッフ等が意見交換を求め足しげく通ってくるようになり、その交流がきっかけで本事業が実施した「*ジュネチック in 伊計島」滞在・リサーチ、制作・発表と交流プログラムは、アートプロジェクトと同会場のうるま市伊計島で同時期に開催できたことは、地域間ネットワークを築く上でとても意義深い成果でした。*来場者数：4,835名
この繋がりは、この先どんな形に変わろうと深めていきたい所存です。

平成25年度は、本事業の本拠地である沖縄市において数多くの文化的プログラム（イベント）の実施を行いました。24年度の動きで気づいたことは、地域で協力し合える関係性を築くこと。その気づきを実践すべく年間を通して多種多様な人々が集い、伝え、意見できる場の提供、そして、地域行事への参加も積極的に行い協力しました。恒例行事の中でも企画にも携わった一番街商店街「七夕まつり」は、地域の方々との関係性をより強固なものにし、それが10年ぶりの復活お披露目となった商店街を練り歩くパフォーマンス「一番街音頭」の実現に繋がったと感じています。

三年目となる平成26年度は、これまでの活動とこれからを結ぶ重要な年でした。24年度に実施した「*ジュネチック in 伊計島」滞在・リサーチ、制作・発表と交流プログラムを経て、25年度は「人」と「場」をつなぐネットワークづくりに努め、26年度は、あらためて本事業の本拠地である沖縄市において「ジュネチック」を開催することで、これまで培ってきたネットワークと実績を集約し、観て感じ、体験して学び、交流して理解を深める、それらのプログラムを、地域に点在する商店やアートスペースなどと協力しながら作り上げました。
*来場者数：1,548名

この三年間の活動を通して、今後の方向性を思考・再考した時に見えたのは、遠方から滞在・リサーチ、制作・発表、人的交流などで訪れる人からの問合せに対応できていない状況です。今後は、この課題を解決するために、準備を進める予定です。これまで（個人的にですが）複数を受け入れてきましたが、しっかりソーシャルビジネスとして事業計画を組み立て、実行していきます。

この三年間、ご支援とご協力をいただきありがとうございました。
今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

2015年3月